

①取組主体

名称 : 出雲市立檜山小学校
担当窓口 : 担当者 森山明美
住所 島根県出雲市多久谷町182-1
電話 0853-63-2615 FAX 0853-63-2615
E-mail hiyama@hit-5.net

団体等の種類 : 学校
構成員 : 14名(教職員)
活動紹介するHP、情報誌等の有無 : 有
HPアドレス : <http://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1127378405244/html/common/457b6490006.html>

②連携している団体等の有無 : 有

→(有の場合)連携している団体の属性
その他(コミュニティセンター、地域団体「花の銀行」、老人会、子ども会)

③取組地域 : 島根県出雲市

④取組開始時期・経緯(動機含む)

30年以上前から、「全校で土に親しみ、花いっぱいの学校にしよう」を合い言葉に伝統的に花作りに取り組んできている。

⑤目的(目標)

学校教育目標の具現化として、また環境美化教育の一環としての「人の気持ちが分かるやさしい子」「やる気いっぱい、最後までがんばる子」の育成

⑥参加者数・属性推移

檜山小学校 全校児童 85名 教職員 14名(平成18年度)
檜山地区の連携団体 およそ10名

⑦経費

約135,000円
うち、島根県ふるさと教育推進事業 約23,000円
出雲市総合的学習推進事業 約80,000円 を含む

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり含む）

校舎の周辺には、各学年の花壇（7か所）、へちま栽培園（1か所）、児童会花壇（4か所、園芸委員会が管理）、職員花壇（1か所）、地域の方のふれあい花壇（1か所）があり、それぞれ分担して世話をしている。このほか、各学年の畑と全校さつまいも畑もある。

活動の時間としては、生活科や総合的な学習の時間に、土とふれあう活動を設定して実施している。花壇は学年（または園芸委員会）で管理し、まく種も児童と相談して決め、肥料やり・水かけ・草取りなどしている。また、特別活動（児童会活動）においては、地域の方にも協力していただいて、共に花の苗を育てたり花壇に植えたりしている。

平成17年度から「ふるさと教育推進事業」（県事業）の中核的な教育活動として、「土に親しむ活動」を位置づけ全校で花栽培とさつまいも作りに取り組んでいる。花いっぱいの学校を目指しつつ、花を通じた交流活動を盛んに実施するなど、地域の方々と一緒に花を作ることを通して、豊かな心のふれあいを育む地域づくりも目指している。

また、さつまいもを育てる活動では、地域の子ども会との連携を図りながら、地域指導者のもとで植え付けから収穫まで行い、収穫した芋の一部は校区内の認知症グループホーム「るんびにい苑」等へプレゼントするなど、福祉活動を行っている。



⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

①栽培活動を通して、たくさんの人とふれあいをもつことができた。

- ・春と秋の年2回、「お花見給食」を実施。全校縦割り班で花壇を見ながら給食を食べた。仲よく和やかな優しい気持ちになれるひとときを共有できた。
- ・園芸委員会（花いっぱい委員会）の活動に地域の方の参加をいただき、花苗の栽培や花壇への植えつけを行った。地域の方からは、花を育てる方法やコツを教えていただき、子どもたちの花への関心が高まった。
- ・さつまいも栽培では、子ども会の方に畑を耕していただき、地域の老人会の皆さんに指導していただいた。収穫後は、いも料理をして、お世話になった方々を招待して共に収穫の喜びを味わった。

②花をただ眺めるだけでなく、栽培した花や作物を様々な教育活動に利用することで、生活に豊かさを感じることができた。

- ・花壇の花で教室などを飾り季節感のある教室づくりをした。
- ・一人一鉢の花を卒業式や入学式の式場の飾りにしたり、プレゼントとして利用した。
- ・フラワークラブでは、花壇の花でフラワーアレンジ・押し花・ポプリ・ハーブク

ツキー作り等をした。

- ・ るんぴにい苑等訪問の際に、収穫したさつまいもや花壇の花を使ったフラワーアレンジをプレゼントし、交流を深めた。
- ・ 畑で収穫した作物の調理方法を工夫し試食会を開くなど、栽培活動を楽しんだ。

③種から大切に育てることで、命の大切さにも気づくことができた。



・ 学年ごとに一人一鉢や花壇に何を植えるか、子どもたちが話し合い決定。種まき（さし木）から苗植え・土作り・水やり・除草など自分たちの手で育て増やし、植物の生命力を感じる活動ができた。

本年度の学校経営の特色に「健康をキーワードにした教育活動」の推進を掲げている。

花づくり活動は、屋外での活動機会を十分に確保することができた点、花づくりやそれを用いての交流活動により豊かな心を育てる

ことにつながった点において、心身ともに健康な子どもの育成に効果があったと考えられる。

特に、色とりどりの花々が醸し出す雰囲気は、子どもたちの心を和らげ、癒し、日々の暮らしに少なからぬ潤いや豊かさを与えてくれている。この取り組みを通し、子どもたちは、「思いやりの心」「命を大切に作る心」「ねばり強く頑張る心」等々の多くの豊かな心を育てることができたと感じる。

⑩今後の構想、課題

地域と一体となって進めている本活動は、子どもを含めた地域住民の豊かな心の育成と心のふれあう地域づくりに大きな役割を果たしている。地域に根ざし、伝統となった本活動に今後も継続して取り組んでいきたい。

⑪その他

別添：年間指導計画

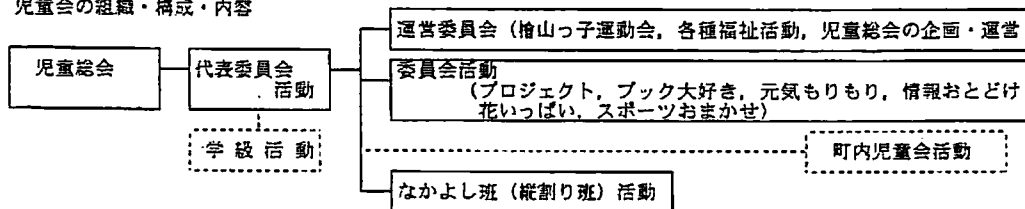
平成18年度 檜山小学校 児童会活動 年間指導計画

- 児童会活動のねらい
学校生活に関する諸問題を解決する活動及び学校内の自分たちの仕事を分担処理する活動を、自発的・自治的に行うことにより、自主性と社会性を養い、個性の伸張を図る。

2 檜山小学校の「児童会活動」で大切にしたいこと

- (1) 委員会主催による集会活動や全校集会活動など、伝統的に行われていて子どもたちの意識にも定着している教育効果の高い活動については、改良を加えながら維持していくようにする。
- (2) 新しい試みや楽しかったこと・満足感を得たことは、次の意欲を引き出し、能動的な活動を促すことにつながる。子どもたちの活動意欲を高める支援をしていく。
- (3) 本校の児童数85人は、全校での活動も縦割り班での活動も行いやすい規模である。そのよさを生かし、いろいろな異年齢集団での活動機会を意図的に組んでいくようにする。
- (4) 子どもたちの考えや発想が実践に移されるような指導展開の仕方を工夫する。
- (5) 個人や集団の変容がとらえられるような評価方法を工夫し、満足感を味わったり次の活動への意欲をもったりすることができるようにする。そして、温かい人間関係が構築できるようにしていく。

3 児童会の組織・構成・内容



4 委員会活動年間計画

	プロジェクト	ブック大好き	元気もりもり	情報おとどけ	花いっぱい	スポーツおまかせ	全校集会活動等
ねらい	全校のみんなが仲よく楽しめる活動を企画し、実行する。全校のみんながやりたいことを実現していることを把握し、解決していく。	読書の素晴らしさを広め、図書室の利用を推進する。	自分の体を大切に、健康な生活ができるようにいろいろな活動の計画を立てて工夫して積極的に取り組むことができる。	全校のみんなが楽しめる放送をし、檜山小学校の文化の向上を図る。	学校花壇での花の栽培活動を通して、自分たちの学校をきれいにしていこうとする態度を育てる。	体育的な集いを企画・運営し、全校のみんなが運動に親しみ、楽しむことができるような活動に取り組むことができる。	様々な活動を子どもたちの手で企画・運営し、協力して学校生活をよりよいものにしていく実践力を培い、よりよい人間関係を形成する。
4月	年間活動計画作成 お助けボックス作成	年間活動計画作成 常時活動(図書貸し出し本の整理)	年間活動計画作成 掃除用具の点検 常時活動(年間)食器と靴の点検	年間活動計画作成 常時活動(校内放送)	年間活動計画作成 お花見給食 常時活動(水やり)	年間活動計画作成 常時活動(校庭整備, 器具庫整理)	なかよし班顔合わせ会 1年生をむかえる会
5月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	にこにご発表会 明会	なかよし給食 集いの計画と準備	あいさつ運動	花壇の手入れ 花の種まき	全校遊びの企画 檜山っ子運動会	委員会紹介(プロジェクト) にこにご発表会(2年) 代表委員会(運動会)
6月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	おはよう読書 にこにご発表会 明会	手洗い歯磨き強調 月間	発表準備	花の苗植え さつまいも苗植え 集いの準備	プール開きの運営	児童朝会(元気もりもり) にこにご発表会(3年) 児童総会
7月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	ベストリーダーの表彰	元気いきいき集い なかよし給食	あいさつ運動 1学期の反省	花の苗植え 1学期の反省	遊具札作り 1学期の反省	児童朝会(情報おとどけ)
9月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	にこにご発表会 明会	掃除用具点検 なかよし給食	あいさつ運動 2学期活動計画	花壇の手入れ お花見給食 花の種まき	2学期活動計画	にこにご発表会(4年)
10月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	児童朝会	掃除強調月間	情報新聞作成	さつまいも集い 花いっぱい集い準備	全校遊びⅡの企画 ロードレース大会の運営	児童朝会(ブック大好き)
11月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	校内読書週間 おはよう読書	クリーン活動 なかよし給食	あいさつ運動	花いっぱい集い 花壇の片付け 花の苗植え	ロードレース大会Ⅱの運営	児童朝会(花いっぱい)
12月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	ブックランキング にこにご発表会 明会	うがい・手洗い・換気強調月間	あいさつ運動 2学期の反省	2学期の反省	2学期の反省	児童総会 にこにご発表会(6年)
1月	心ぼっかばかの日・お助けボックスの点検	にこにご発表会 明会	掃除用具の点検 うがい・手洗い・換気強調月間	あいさつ運動	花新聞作成	全校大なわ大会の企画	にこにご発表会(5年)
2月	心ぼっかばかの日・生活目標にかかわる活動	読書郵便 にこにご発表会 明会	掃除強調月間	情報新聞作成	花新聞作成	ロードレース大会Ⅲの運営	にこにご発表会(1年) 児童総会・代表委員会 児童朝会(スポーツ)
3月	心ぼっかばかの日・生活目標にかかわる活動	1年間の反省	なかよし給食 1年間の反省	あいさつ運動 1年間の反省 引き継ぎ	1年間の反省	1年間の反省 引き継ぎ	ありさよ集い 委員会引き継ぎ

5 評価計画

- 各自が無時間ふりかえりカードに反省を記入し、担当者が評価をする。
- 学期ごとに、各自がふりかえりカードに記入し、担当者が評価したものを担任に返し、その後の指導に生かす。

平成18年度 檜山小学校 クラブ活動 年間指導計画

- 1 クラブ活動のねらい
 同好の児童が共通の興味・関心を追求する活動を自発的・自治的に行うことによって、自主性と社会性を養い、個性の伸張を図るとともに、余暇を有効に活用しようとする態度を育てる。

- 2 檜山小学校の「クラブ活動」で大切にしたいこと

- (1) 子どもや教職員の願いを最大限生かして開設するクラブを決定する。また、地域の方にも外部講師として来てもらう。
 (2) 子どもたちの考えや発想が実践に移されるような指導展開を工夫したり、子どもたちが満足感を持ち、活動意欲を高められるような支援をしたりする。
 (3) 4～6年の縦の同好の間で、温かい人間関係が構築できるようにサポートする。
 (4) 個人や集団の変容がとらえられるような評価方法を工夫する。

- 3 運営に関すること

- 第4学年以上の児童50名をもって組織する。
 ○1単位時間は60分とする。(実施時数は、1単位時間45分の時間分に相当)
 ○1学期と2学期の毎週金曜日の6校時に全15回実施する。(1学期：7回、2学期：8回)
 ○毎時間の活動後に個人反省カードに活動内容と反省事項を記入し活動の自己評価をする。また学期末には反省会を開き、活動のふりかえりをする。

- 4 実施クラブのねらいと年間活動計画

クラブ名	イラスト・工作・手芸	フラワー	おもしろ実験	ゲートボール	スポーツいろいろ	檜山探検&パソコン	ダンス	
活動目的	工作、手芸、イラストなどの創造的な活動を楽しむ。	花を利用した様々な活動を行い、花と親しみ、その活用の仕方を工夫する。	いろいろな実験や科学工作を通して、科学実験のおもしろさを体験する。	ゲートボールのルールや技術を習得し、地区の方とともに、ゲートボールのゲームを楽しむ。	様々なスポーツ活動を通して、友達と協力して運動する楽しさを味わう。	校外に出かけ檜山の自然に親しむとともに、活動したことをパソコンを利用してまとめる。	いろいろな曲に合わせて、表現する楽しさを味わう。	
活動場所	4年教室	家庭科室	理科室	ゲートボール場	体育館・校庭	校外・図書室	音楽室	
活 動 計 画	1回目	めあてや計画を立てる	めあてや計画を立てる	めあてや計画を立てる	外部講師と顔合わせめあてを立てる	めあてや計画を立てる	めあてや計画を立てる	
	2回目	箱を使った小物入れ作り	ポプリ作り	ブーメラン作り	用具の使い方	魚釣り(多久川)	曲を決める	
	3回目		ポプリ作り	ブーメラン作りII	第1ゲート通過練習	檜山の伝説巡りサイクリング	振りを考える	
	4回目	オリジナルキャラクターを考える	ハーブクッキー作り	べっこう飴作り	タッチの練習	ドッジボール	魚釣り(多久川)	振りを考える
	5回目	オリジナルキャラクターマスコット作り	ハーブゼリー作り	バプロケット作り	スパークの練習	室内野球	檜山一周サイクリング	曲を決める
	6回目		ハーブゼリー作り	アイスクリーム作り	2組に分かれて試合	サッカー	パソコンで1学期の活動のまとめ	振りを考える
	7回目	フルーツパフェ作り	氷花作り	スチールウールで火花作り		2学期の計画かんけり	虹ヶ滝探検	振りを考える
	8回目	布を使って作品作り	押し花でしおりやコースター作り	シャボン玉		キックベース	魚釣り(多久谷川)	発表会
	9回目		フラワーアレンジ	スライム作り		ドッジボール	川遊び(多久川)	決まった踊りを踊る
	10回目	ビーズのアクセサリ作り	お花見の茶会	プラ板加工		サイクリング	檜山探検	決まった踊りを踊る
	11回目		お花見の茶会	ポップコーン作り		バスケットボール	大慶寺探検	発表会
	12回目	グリーティングカード作り	リース作り	べっこう飴作りII		サロンフット	ずんでの穴、名水山梨ツアー	曲を決める
	13回目		ペーパーフラワー作り	シャープペンのしんで光実験		かんけり	湧の平あけび狩り	振りを考える
	14回目	リース作り	ペーパーフラワー作り	アルミ缶でご飯炊き実験		サッカー	パソコンで2学期の活動のまとめ	振りを考える
	15回目	(反省カード)	活動の反省(反省カード)	電気でカステラ作り 活動の反省(反省カード)	講師の方と反省会(反省カード)	活動の反省(反省カード)	活動の反省(反省カード)	活動の反省(反省カード)
備 考	◇作品を展示し発表の場とする。	◇子どもたちが育てた花を利用した内容も含む。		◇外部講師を依頼し、実施。 ◇平田地区の大会に出場する。		◇檜山小のホームページで活動の様子を情報発信する。	◇外部講師を依頼し、実施。	

- 5 評価計画

- 各自が毎時間後の活動記録表にその日の活動の簡単なふりかえりを行い、担当者はそのふりかえりを次の活動へ生かす。
 ○1学期と2学期の終了時にも、さらに全体的なふりかえりを行い、次学期・次年度のクラブ活動の充実につなげる。

平成18年度 檜山小学校 特別活動全体計画

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・島根県教育方針
- ・出雲市教育方針

学校教育目標

心豊かにたくましく、ともにによりよく生きようとする檜山っ子の育成
 ひ・・・人の気持ちのわかるやさしい子
 や・・・やる気いっぱい、最後までがんばる子
 ま・・・学びあい、助けあい、高めあう子

- ・地域の実態
- ・学校の実態
- ・児童の実態

特別活動の目標

望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め協力してよりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。

研究主題 人とのかかわりを大切にし、よりよいくらしを追求する檜山っ子
 ～主体的な問題解決力を育む学級活動をめざして～

特別活動で育てていきたい子どもの姿

- お互いのよさを認め合い、相手のことを思いやりながら行動できる子ども(やさしい子)
- 身の回りの問題(やりたいこと・解決したいこと)を自分たちの力で解決していこうとする子ども(がんばる子)
- みんなで知恵を出し合い協力し合って、くらしをよりよいものにしていこうとする子ども(高めあう子)

各教科	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事	道徳
各教科で学んだ知識や技能・態度などの積み重ねを特別活動の活性化に生かす 特別活動で身につけた協力的な態度・望ましい人間関係などを各教科に生かす	・学級や学校の生活の充実と向上をめざし、諸問題の解決や仕事の分担処理などを自主的に進め、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる。 具体的活動内容 ◇活動内容(1) ・学級や学校の諸問題の解決 ・学級内の組織作りや仕事の分担処理など ◇活動内容(2) ・希望や目標を持って生きる態度の育成 ・基本的な生活習慣の形成 ・望ましい人間関係の育成 ・学校図書館の利用 ・心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ・学校給食と望ましい食習慣の形成 ・その他の内容	・学校生活に関する諸問題を解決する活動及び学校内の自分たちの仕事を分担処理する活動を行い、自発的・自治的に進め、自主性と社会性を養い、個性の伸張を図る。 具体的活動内容 ◇児童総会 ・全校児童の参加 ・学校の諸問題について検討 ・年間3回 ◇代表委員会 ・各学年代表2名ずつと、運営委員(各委員会委員長)により構成。 ・児童会行事や学校の諸問題について検討 ◇委員会活動 ・4～6年全児童により構成 ・通年制 ・原則月2回(水曜日) ◇全校集会 ・1年生を迎える会 ・ありがとうさよなら集会 ・各委員会主催の集会 ◇町内児童会 ◇なかよし班(縦割り)	・同好の児童が共通の興味・関心を追求する活動を自発的・自治的に進め、自主性と社会性を養い、個性の伸張を図るとともに、余暇を有効に活用しようとする態度を育てる。 具体的活動内容 ・4～6年全児童により構成 ・1,2学期に実施 ・毎週金曜日6校時 ・1単位時間は60分 ・内容や数については職員数や活動施設・場所を考慮した上で児童の希望を生かして決定 イラスト・工作・手芸 おもしろ実験 檜山探検&パソコン スポーツいろいろ フラワー ゲートボール(※) ダンス ※印 外部講師	・学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に視するとともに、集団行動における望ましい態度や協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。 学校行事年間計画 ◇儀式的行事 ④着任式、始業式、入学式 ⑦終業式 ⑧始業式 ⑫終業式 ①始業式 ③卒業式、修了式 ◇学芸的行事 ⑩東プロ連合音楽会 ⑪学習発表会 ◇健康安全・体育的行事 ④身体測定、交通安全教室④～⑤各種検診 ⑤東プロ陸上大会、避難訓練⑥檜山っ子運動会、防犯教室 ⑨身体測定、地区民体避難訓練⑩身体測定 ⑪避難訓練 ◇遠足・集団宿泊的行事 ⑤遠足 ⑨6年修学旅行、5年宿泊研修 ◇勤労生産・奉仕的行事 ⑥プール掃除 ・さつまいも栽培 ・花の栽培	集団活動を通して実践的な態度を形成する特別活動を道徳的な態度の形成に生かす 道徳で学んだ道徳的な心情や判断力などが特別活動の実践を支えるように生かす
	相互に生かし合う関係				

総合的な学習の時間 総合的な学習の時間における体験的な学習、問題解決的な学習の経験を特別活動の学習に生かす
 特別活動で身につけた自発的・自治的な活動の進め方を、総合的な学習の時間の場面で生かす